



ホ ン ダ フ ル  
本derful!

～ 自分を 世界を 未来を 拓く ～

<アクティブハイスクール事業は終了しましたが本校の特色として実施しています>

## 令和6年度(2024年度) 本derful!講演会

講師： 作家 宮島 未奈 氏

令和6年(2024年)12月12日(木)

対象：第1・2学年

担当：第1・2学年 本derful!委員会

会場：栗東芸術文化会館さきら



『成瀬は天下を取りにいく』(宮島未奈：著 新潮社：刊)を読み、講演していただきました。



### \*生徒の感想より\*

- ◆ 宮島先生からの成瀬に対する思いだとか、どういういきさつで書いたのかなど、普段では絶対に聞くことがないことを特別に聞くことができ本当に良かった。3冊目が出るだとか秘密の情報を聞いて良かった。小説家の実態というか、職の大変さとやりがいを感じることができていい経験になった。
- ◆ 本ダフル委員を務めたおかげでとても良い講演を間近で聞いて良かった。作家さんの話を聞いたのは初めてだったけど、小説の中の話と作家さんの思っている理想の生活が別に一緒な訳ではないとか、色んな実際のところの話が聞いて面白かった。

- ◆ 本を読んだり、ネットで調べただけでは知れないことを作者本人から直接聞いて良かった。『成瀬は天下を取りに行く』が作られた理由とか、作者の伝えたいことを知ったことで、より作品を楽しめると思った。
- ◆ どうやって『成瀬は天下を取りに行く』ができたのかが分かって嬉しかった。また、草津東が、本屋大賞を取られる前から声（講演依頼）をかけていたとは思わず驚いた。
- ◆ 僕が今回の講演会を通して良かったと思った点は、生徒からの質問コーナーが設けられていたことです。今までの講演会でも質問コーナーがあったのですが時間が少なく、1人、2人しか質問できなかったことが多かったです。しかし今回の講演では、10名ほどの人が質問できるほどの時間が設けられていたため良かったと感じています。
- ◆ 『成瀬は天下を取りに行く』の裏話が沢山聞いてとても楽しかったです。本が出来上がるまでにそれだけの苦労があったんだなあと知ることができました。続編も楽しみです。
- ◆ 作者さんが17冠を取っている凄い人だとは知りませんでした。成瀬シリーズを書くにあたった経緯や、登場人物の感情、それに込めた思い、物語の背景などの聞きたかったことが本人から聞いて大満足でした。
- ◆ 『成瀬は天下を取りに行く』や『成瀬は信じた道に行く』の誕生秘話など知れて嬉しかった。成瀬ではなく島崎視点で書いているのは成瀬の性格を際立たせるためだった。成瀬は本当にいる人物なのか気になっていたのので、“いない”と知って少しびっくりした。
- ◆ 成瀬ができたきっかけ、各登場人物の特徴もよく分かったので良かったです。また、小説を書く辛さ、今までの生い立ちも聞いて、シビアな小説家の現実を知れて良かったです。出版関連の仕事に就きたいと考えているので、作者と読者の懸け橋になるためにはどうすればよいか考えるようになりました。
- ◆ 想定していたよりも食い込んだ話が聞いておもしろかったです。色々な過程を経て、あの物語が作られたと思うとなんだか大きなパワーを物語から感じました。物語が作られた背景と物語を結びつけるのはフィクションが壊れる気がして無粋な行為だと思っていましたが、何がこの力強さを作り出しているのかを調べる行為でしかない気づけて良かったです。
- ◆ 宮島先生が話されていた、「人生何が起こるか分からない。だから生きることが大事。生きていればこの先いいことがあるかもしれない。」というのがとても心にきました。創作についても話されていて、自分も文芸部で小説を書いている身なのでとても勉強になりました。
- ◆ 話がどのようにできたのかが分かったのがおもしろかった。成瀬の明確なモデルがないのはとてもびっくりした。作者の中のイメージや周りの人のエピソードが合わさって成瀬というすばらしいキャラクターが誕生したのだと知れて嬉しかった。
- ◆ 作品を作った経緯や、登場人物、題名の付け方を知れて良かった。特に、登場人物の性格などを読者に伝えるために、その周りの人々の発言などで工夫していることに、すごいと思った。読者はもっと続きを読みたいと思うがその裏では、筆者は、とても苦労していることも知れて良かった。
- ◆ 質問コーナーの時にこちら側から質問するだけでなく、宮島さんの方からグッズのアイデアを聴衆に質問されるという、なかなかない機会に恵まれたことに驚きです。続編もぜひ買って読んでみたいと思いました。



- ◆ いっぱい質問できて裏話とかが聞けて良かった。今後の生き方とか参考にできるところがあって人生を楽にすごせる考え方を知れたのが良かった。「千里の道も一歩から」という言葉を宮島さんが大事にしているように、私も大事にしたい言葉を見つけたいと思った。
- ◆ 『成瀬は天下を取りに行く』の話がどのようにしてできたのかや、どういう人物でどのようにキャラクターが誕生したのか、など興味深い秘話が聞けてとても面白かったです。細かい設定などを聞くともう一度読み返したくなり、続編やグッズも楽しみにになりました。
- ◆ 『成瀬は天下を取りに行く』の細かいところまで宮島先生から聞いて嬉しかったです。先生が登場人物の声が聞こえて、それを文字にしているとおっしゃっていたのがとても印象的でした。先生が小さいころに偉人の伝記が好きだったとおっしゃっていて、自分も同じように伝記を読んでいたのもとても親近感が湧きました。表紙の成瀬の手相についても初めて知ったので知れて嬉しかったです。本当によく考えられて作られているんだとあらためて感じました。
- ◆ 今回の講演を聴いて一番印象的だったのは、成瀬にはモデルがないということです。主人公を変ったキャラクターにしようと思いついても、どんな風に変なのかや、他の人にはない特徴を考えるのは相当難しいと思ったからです。また、2章の M-1 のネタを先生自身が考えていらっしゃるのも驚きました。私はこの章が一番好きで、島崎と成瀬のお互いの変なところが表れているのがポイントだと思います。
- ◆ 小説を書くことを一度はやめてしまっても、またやってみたいと始め、文章を書くことは難しいが書き続けたことが本当にすごいなと思ったし、私もこれから好きなことでも、得意なことでもいいからすぐにあきらめず努力し続けられるような人になりたいと思いました。成瀬の性格をこまかく表現するためにさまざまなことを工夫されていて、話の内容が深まりとてもおもしろかったです。
- ◆ 本を作る過程や、作者の心情を知る良い機会になりました。質疑応答の時間はとても楽しかったです。ただ、本を詳しく読めていないから質問を考えることができませんでした。宮島先生の人生を聞けたりしたのはすごく興味深かったし、自分は大学に行かない進路を考えていたけど、大学も面白そうだなと思いました。自分も小説や論文を書くときにどう考えを言葉に表すか楽しみながら書きたいと思いました。
- ◆ 宮島さんへ質問をする機会があった時に、あまりできなかったのもっと本を読んでおけばよかったなと思いました。本ができるまでの期間やイラストがどう作られているのかを聞くことができて良かったです。貴重な体験をすることができた。
- ◆ 実際、作者にお会いしてお話を聞くことは初めてだったので新鮮でした。小説を書く人は、文章がスラスラ思い浮かんでくるものだと思っていたので、とても苦労していることを知って驚きました。また、作者の高校生時代のお話を聞いて、将来何があるかわからないと思いました。この先自分のやりたいことをしていきたいと感じました。
- ◆ 本を実際に書いている人が来てくださり、その本について直接話すことができるというとてもおもしろく、貴重な経験をさせてもらえて良かったです。本を読むということがあまり好きではなく、読む気というのもあまり起こらないのですが、表紙の成瀬が横顔の理由がキャラクターを少しでも読者に想像してほしいからなど、読むだけではない部分の話を聞いたことで、より手にとって読んでみたいし、おもしろそうと感じました。
- ◆ 自分は小説家や作家を目指している訳では無いけれど、宮島さんの話を直接聞くことが出来て、本を書いて

いく流れやキャラクターをどう考えるかなど、小説を書く難しさというのが凄く伝わってきました。作者の方が実際に来て話をしてくれるというのは、それだけで凄く価値のあることだなと思いました。

- ◆ 先生自身も、学生の頃は作家になれると思っていなくて、一度普通に働いてから、もう一度本を書き始め、作家になったことを知り驚いた。本についての細かいことや、成瀬のグッズについてなど、貴重な話が聞けて良かった。
- ◆ 本を読むことは多いけど、本を書いた作者の人のお話を直接聞ける機会はなかなかないし、自分は初めてだったので、興味を持って楽しく聞くことができた。また、『成瀬は天下を取りに行く』の裏バナシや、成瀬の性格があんな風な理由など、聞けない話を知れて、うれしかった。
- ◆ まず、出身が滋賀だと思っていたので、大人になってから滋賀に住むようになったと聞いて驚きました。経歴について、昔からノートに小説を書いて仲の良い友達に見せていたり、小説を書くのをやめてもブログを書いていたと聞いて、やっぱり賞を取るような人はずっと文章を書いているんだなと思いました。高校に行くのが嫌だったというのが意外でした。趣味について、気が紛れて時間がつぶれるなら何でもいいと言っていて、自分にはない考え方で、取り入れたいと思いました。プロの作家の、本をどういう風に乗っているのかの話は、とても興味深くて、聞けて良かったです。本一冊分の執筆期間が半年くらいと聞いて、思ったより短いと驚きました。また、「成瀬」がどうやってできたのか、着想から聞くことができたのも良かったです。尊敬する作家として挙げていた豊島ミホさんも少しだけ知っていたので、なんだか嬉しかったです。
- ◆ 作家になられた過程をこまかく教えてください、とてもおもしろかったです。「未来はどうなるか分からない」という言葉で勇気をもらった。高校時代のお話を聞くことができて、作家さんの人生は自分とは全然違った人生でおもしろかった。
- ◆ とても有名な作家さんからの貴重なお話を聞けてとても嬉しかったです。以前、『成瀬は天下を取りに行く』を読んで、発想がとても豊かで、性格が少し変わっている成瀬のお話がとてもおもしろくて、いつも小説が読み切れない私でも最後まで楽しく読むことができました。それも講演会を聞いて読みやすいように工夫していると聞いて納得できました。講演会で逆に質問されるのは初めてで、とても面白かったです。
- ◆ 宮島さんが来られると聞いてから、楽しみにしていたので講演会を聞けてとても良かったです。言いたいことを簡潔にすらすら言えるのがすごいなと思いました。宮島さんも、高校時代がとてもいやだとおっしゃっていて、親近感を感じました。宮島さんの本を読むと、とても分かりやすく、話がずっと入ってくるのは、宮島さんが意識して書いた結果だと聞いて、すごいなと思いました。宮島さんのお話を聞いて、未来は分からないと改めて感じました。新作がとても楽しみです。
- ◆ 堅苦しい雰囲気じゃなくて、自由に本音でお話をされていたところが印象に残った。お話を拝聴している内は、「多くの賞を受賞されている方なのだな」程度に考えていたが、帰宅した後に“本屋大賞”という賞について調べてみると、何度か目にしたことがある本がいくつもあって、より貴重な経験であったと実感できた。
- ◆ 大賞を受賞されてから（依頼が多くなり）、講演の話をほとんど断っていると聞いて、とても貴重なお話をさせていただけたのだと改めて強く感じた。普段からあまり本を読むことのない私からしても、参考になるような考え方を聞けてとても良い機会になったと感じる。
- ◆ 先生の高校時代や、どのように小説を書くことにいったか、知ることができて面白かったです。元々から小

説を書くことは好きとおっしゃっていましたが、小説家になろうと思ったのは、かなり後だという話を聞き、驚きました。宮島先生が成瀬と友達になりたいかと聞かれたとき、なれないと思うとおっしゃって、作者と小説のキャラとの関りがとても面白かったです。また、先生でもすぐにアイデアは思い浮かばず、悩むことがあるということを知り、すごい人でも苦勞はしているんだと感じられました。

- ◆ 宮島先生の生い立ちや高校生時代のお話、『成瀬は天下を取りに行く』ができた経緯や着想を得たきっかけなどとても貴重なお話をたくさん聞けて本当におもしろかったし、興味深かったです。先生のお話の中で特に印象に残ったことは、先生が「高校はあまり楽しくなかった」とおっしゃっていたことです。その続きのお話で、「どれだけ辛くて苦しくても人は生きていかなければいけないから、ゲームなどで息抜きをしても良いから、高校生は勉強をするのが一番良い」という様な言葉が心に残りました。
- ◆ 成瀬の誕生エピソードとか、これからのこととかを聞いて楽しかったです！講演会、はじめはピンときてなかったけど、聞いている側も質問して盛り上がっていたので、楽しかったです。
- ◆ 『成瀬は天下を取りに行く』の知らなかったことや、どうやって誕生したのかを知ることができて良かったです。続編も読みたいと思いました。表紙の成瀬が天下取りの手相があると知って、そんなところもこだわっていることが分かり驚きました。
- ◆ 学生の頃の話など身近に感じる話や、本ができるまでの話などなかなか聞くことができない話を聞くことができて嬉しかったです。グッズなどの案も優しく聞いてくださり、楽しい講演会でした。
- ◆ 元々題名は決まっていて、そこに合うようにできていたのがすごく興味深かった。静岡を中心として書こうと思っていた時期があったのを聞いて、少しのアイデアの違いで、作品が大きく変わるのを知って驚いた。成瀬は、1人のモデルがいたのではなく、いろいろな人の人生が混ざって構成されているのを知った。
- ◆ 小説家の人は小説がスラスラと書けるものだと思っていたので、書くのが苦しいと聞いて驚きました。小説家も職業なのでつらいこともあるし、そういう面では会社員と同じだとおっしゃっていて、たしかにそうだなと思いました。『成瀬は天下を取りに行く』の裏側をたくさん聞くことができてすごく嬉しかったです。この講演会を聞いて、またもう1度読み直してみたいと思いました。
- ◆ 作者さんの成瀬に対する思いとか、元々は滋賀じゃないところを舞台にしようとしていたとか、たくさんの裏話が聞けて、聞いていてとても楽しかったです。今回の講演会を聞いて、もう1回『成瀬は天下を取りに行く』を読みたいなって思いました。漫画も発売されたと聞いたので、漫画版も読みたいなと思いました。
- ◆ 作家という職業について、いろいろと興味をもっていたので、宮島さんの話を聞くことができ、とても嬉しかったです。『成瀬は天下を取りに行く』という本がどのようにして生まれたのかや、宮島さんの経験談などを聞いて、とても興味深いなと感じた。
- ◆ どんな気持ちで本を書いているのかや、どのようなかんじで本が完成するのかを知れてとても貴重な経験ができたなと思いました。質疑応答の時間がたくさんあり宮島さんとコミュニケーションがとれていて良かったなと思いました。
- ◆ 宮島さんの貴重なお話を聞くことができて良かったです。実は宮島さんは最近まで主婦だったということにとっても驚きました。質問もたくさんの方がしていたり、グッズの案もたくさん出ていて、とても良い講演会になったと思います。